

国土交通大臣
太田 昭宏 様

要 望 書

(一般国道 353 号十二峠土砂災害の早期復旧と
十二峠新トンネルの着工について)



一般国道353号 十二峠
猿倉スノーシェッド上空写真 (十日町市笹沢)

一般国道 353 号十二峠新トンネル開削期成同盟会

新潟県十日町市・南魚沼市・柏崎市・湯沢町・津南町
長野県飯山市・野沢温泉村・栄村

一般国道353号十二峠土砂災害の早期復旧と 十二峠新トンネルの着工について

道路事業の整備促進につきましては、格別なご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、一般国道353号は、新潟県南部地域、長野県北部地域と上越新幹線、関越自動車道とを最短でつなぐ、極めて重要な路線であります。南魚沼市塩沢～十日町市中里間の十二峠は急勾配・急カーブの連続した山あいの道路であり、雨や雪のため通行止めが発生し、住民生活に多大な支障が生じています。

当地域は、平成23年の長野県北部を震源とする地震や新潟・福島豪雨により、近年立て続けに大きな災害に見舞われたところですが、本年4月5日早朝、十日町市葎沢地内の猿倉スノーシェッドにおいて、大規模な土砂崩れが発生し、全面通行止めとなりました。現在、土砂撤去等復旧作業を進めていただいておりますが、いまだに開通の目途が立っておりません。

孤立集落はないものの、山間部の倉下・土倉集落においては、通勤・通院等を南魚沼市経由の遠回りを余儀なくされ、地域住民の生活に大きな影響を及ぼしております。

また、当路線は日本三大溪谷の「清津峡」へのアクセス道路であることから観光面への影響も生じ、さらに、隣接する津南町・長野県北部地域から関東方面に向かう最短ルートであるにも関わらず、災害によりう回を余儀なくされております。

このような状況の中、1年を通して安全かつ安心して通ることのできる信頼性の高い道路は、たび重なる災害を体験した地域住民の切なる願いです。「十二峠新トンネル」の開通は、こうした災害から地域を守る打開策であるとともに、新潟県南部地域、長野県北部地域及び日本海側地域の活性化と発展に大きく貢献するものと確信しております。

つきましては、これらの実情をご賢察いただき、下記について要望申し上げます。

1. 今回発生した十二峠土砂災害の早期復旧のため、新潟県が行う「災害対策等緊急事業推進費」の事業採択について、特段のご高配を賜りたい。
2. 十二峠新トンネル開削が事業化された際には、予算確保と早期着工に向けた取組について、特段のご高配を賜りたい。

平成26年5月19日

一般国道353号十二峠新トンネル開削期成同盟会

会 長 参議院議員 水 落 敏 栄

会 員 名 簿

会 長	参議院議員	水 落 敏 栄
副会長	新潟県十日町市長	関 口 芳 史
副会長	新潟県津南町長	上 村 憲 司
理 事	新潟県南魚沼市長	井 口 一 郎
理 事	新潟県柏崎市市長	会 田 洋
理 事	長野県飯山市市長	足 立 正 則
理 事	長野県栄村長	島 田 茂 樹
理 事	新潟県十日町市議会議長	川 田 一 幸
理 事	新潟県湯沢町議会議長	南 雲 正
会 員	新潟県柏崎市議会議長	霜 田 彰
会 員	新潟県南魚沼市議会議長	関 常 幸
会 員	新潟県津南町議会議長	河 田 強 一
会 員	長野県飯山市議会議長	久保田 幸 治
会 員	長野県野沢温泉村議会議長	久保田 三 代
会 員	長野県栄村議会議長	福 原 和 人
監 事	新潟県湯沢町長	田 村 正 幸
監 事	長野県野沢温泉村長	富 井 俊 雄

国道353号十二峠土砂災害早期復旧要望写真



土砂崩落直後の猿倉スノーシェッド（平成26年4月5日撮影）



バックホーによる土砂撤去作業（平成26年5月12日撮影）

国道353号十二峠新トンネル開削要望写真



豪雨時土砂流出した道路



片側交互通行による雪庇処理状況

国道353号十二峠新トンネル開削要望写真



カーブが極度にきついため、大型車は車道の中央まではみ出し、対向車と接触する危険性あり。(清津峡入口から200m上手のヘアピンカーブ)



一般国道 353 号十二峠

災害復旧・新トンネル開削要望箇所図

地域位置図



